

記念講演

■日時：12月1日（金） 15：30～16：30

■会場：学術総合センター（F会場）

記念講演 1

座長 山本直樹（国立感染症研究所）

Prospects for the Development of an AIDS Vaccine: Lessons from Macaques

R. Paul Johnson

(New England Primate Research Center, Harvard Medical School)

*このセッションは同時通訳がつきます。

■日時：12月1日（金） 16：30～17：30

■会場：学術総合センター（F会場）

記念講演 2

座長 樽井正義（エイズ&ソサエティー研究会議）

Living Together, Doing It Together, Keeping It Together

Donald (Don) de Gagne

(Actions Traitements)

*このセッションは同時通訳がつきます。

会長講演

■日時：12月1日（金） 14：30～15：00

■会場：学術総合センター（F会場）

会長講演

座長 岩本愛吉（東京大学医科学研究所・エイズ学会理事長）

エイズと25年 - 私的考察

池上千寿子

（特定非営利活動法人ふれいす東京）

アルトマーク賞受賞講演

■日時：12月1日（金） 14：00～14：30

■会場：学術総合センター（F会場）

記念シンポジウム

■日時：11月30日（木） 13:20～15:20

■会場：日本教育会館（A会場）

記念シンポジウム

「エイズの中長期戦略をいかにつくるのか」

司会

飯野奈津子（NHK解説委員）

池上千寿子（特定非営利活動法人ふれいす東京）

記S-1 国民が求めている医療とは—世論調査の結果からの報告：患者参加の医療体制作りとは
近藤正晃ジェームス
(日本医療政策機構)

記S-4 エイズ治療の最初から最前線で見えてきた立場から：医療と社会の生々しいかわりから
根岸昌功
(東京都立駒込病院)

記S-2 国連エイズ政治宣言と国内の課題
樽井正義
(エイズ&ソサエティー研究会議)

記S-5 HIV陽性者の立場から
長谷川博史
(日本HIV陽性者ネットワーク・ジャンププラス)

記S-3 厚生省審議官から民間へという立場から：霞ヶ関の機能、役割、限界とその克服、官民連携
伊藤雅治
(社団法人全国社会保険協会連合会)

記S-6 エイズ学会理事長の立場から：専門家集団としての役割と責任
岩本愛吉
(東京大学医科学研究所・エイズ学会理事長)

シンポジウム

シンポジウム 1

HIV 検査および検査体制
ー技術の進歩と今後の課題ー

座長

杉浦 互 (国立感染症研究所エイズ研究センター)
今井光信 (神奈川県衛生研究所)

S1-1 HIV 検査相談技術の進歩と今後の課題ー検査技術の進歩と即日検査の普及ー
今井光信
(神奈川県衛生研究所)

S1-2 即日検査のガイドライン・事例集と今後の課題
中瀬克己
(岡山市保健所)

S1-3 東京都南新宿検査・相談室の現状と今後の課題
小島弘敬
(東京都南新宿検査・相談室)

S1-4 HIV 遺伝子検査の進歩と今後の課題
加藤真吾
(慶應義塾大学医学部微生物学・免疫学教室)

S1-5 HIV 遺伝子検査の進歩と今後の課題ー本邦における薬剤耐性検査の現状と今後の展望ー
杉浦 互
(国立感染症研究所エイズ研究センター)

S1-6 血中薬剤濃度のモニタリングとその意義
堯原 健
(独立行政法人国立病院機構大阪医療センター薬剤科)

S1-7 HIV 検査に対する医療現場からの要望と課題
白阪琢磨
(独立行政法人国立病院機構大阪医療センター HIV/AIDS 先端医療開発センター)

共催 株式会社三菱化学ピーシーエル

■日時：11月30日(木) 13:20～15:20

■会場：日本教育会館 (E会場)

シンポジウム 2

「HIV 陽性者の高齢化問題；予防・診断・治療・ケアの課題」

S2-1 今村顕史
(東京都立駒込病院感染症科)

S2-3 堀 成美
(東京都立駒込病院感染症科)

S2-2 山元泰之
(東京医科大学臨床検査医学講座)

共催 ブリストル・マイヤーズ株式会社

シンポジウム

■日時：11月30日（木） 15:40～17:40

■会場：日本教育会館（A会場）

シンポジウム3 「より良いHAARTに向けて」

司会 木村 哲（東京通信病院）
白阪琢磨（独立行政法人国立病院機構大阪医療センター）

S3-1 初回 HAART の考え方
白阪琢磨
(独立行政法人国立病院機構大阪医療センター HIV/AIDS 先端医療開発センター)

S3-5 免疫再構築症候群への対応
濱口元洋
(独立行政法人国立病院機構名古屋医療センター臨床研究センター止血・血栓研究部)

S3-2 治療開始時期から見た HAART の臨床効果
味澤 篤
(東京都立駒込病院感染症科)

S3-6 服薬アドヒアランス形成支援—失敗例、成功例を通して考える
城崎真弓
(独立行政法人国立病院機構九州医療センター感染症対策室)

S3-3 耐性検査の意義とタイミング
松下修三
(熊本大学エイズ学研究センター病態制御分野)

共催 ブリストル・マイヤーズ株式会社

S3-4 副作用回避に向けた SNPs 解析、遺伝子解析
瀧永博之
(国立国際医療センターエイズ治療・研究開発センター)

■日時：11月30日（木） 15:40～17:40

■会場：日本教育会館（B会場）

シンポジウム4 Regulation of GAG Trafficking and Functions

Chairmen Dr. Hironori Sato (National Institute of Infectious Diseases)
Dr. Tsutomu Murakami (National Institute of Infectious Diseases)

S4-1 Review on Gag Functions and Trafficking
Dr. Heinrich G. Gottlinger
(Program in Gene Function and Expression, Program in Molecular Medicine, University of Massachusetts Medical School)

S4-3 Myristoylation Independent Assembly, Transport, and VLP Formation of HIV-1 Gag
Dr. Jun Komano
(AIDS Research Center, National Institute of Infectious Diseases)

S4-2 Dominant Negative Inhibition of HIV Particle Production by the Non-Myristoylated Form of Gag
Dr. Yuko Morikawa
(Kitasato Institute of Life Sciences, Kitasato University)

S4-4 Role of SOCS-box Proteins in HIV-1 Infection and Trafficking of the HIV-1 Gag
Dr. Akihide Ryo
(Department of Pathology, Yokohama City University School of Medicine)

*このセッションは英語で行います。

シンポジウム

■日時：11月30日（木） 15:40～17:40

■会場：日本教育会館（C会場）

シンポジウム5

AIDS has a Woman's Face～リプロダクティブ・ヘルスの視点からHIV/AIDSと女性の健康を考える～

座長

北村邦夫（社団法人日本家族計画協会 常任理事・クリニック院長）
東 優子（大阪府立大学人間科学部 社会福祉学科 助教授）

S5-1 AIDS has a Woman's Face

石井澄江

（財団法人ジョイセフ 事務局長）

S5-3 確実な Dual Protection（二重防御法）を

北村邦夫

（社団法人日本家族計画協会常任理事・クリニック所長）

S5-2 陽性女性にとっての快適な妊娠・出産とは

対馬ルリ子

（ウイミンズ・ウェルネス銀座クリニック 院長）

S5-4 当事者からのメッセージ

川名奈央子

（日本 HIV 陽性者ネットワーク・アジア太平洋地域 HIV 陽性者ネットワーク 共同代表）

共催

社団法人日本家族計画協会

財団法人ジョイセフ

協賛

ジェクス

■日時：11月30日（木） 15:40～17:40

■会場：E会場 日本教育会館（E会場）

シンポジウム6

転機を迎えた在日外国人医療・治療アクセスを進める世界情勢の中で今もとめられること

座長

沢田貴志（港町診療所）

S6-1 アラウージョ リマ フリーオ

（GIV）

S6-4 李 祥任

（シェア＝国際保健協力市民の会）

S6-2 岩木エリーザ

（CRIATIVOS-HIV・STD 関連支援センター）

S6-5

稲場雅紀

（アフリカ日本協議会）

S6-3 内野ナンティア

（HIV/AIDS 在日外国人支援ネットワーク）

主催

厚生労働科学研究費補助金エイズ対策研究事業
「NGOによる個別施策層の支援とその評価に関する研究班」

共催

シェア＝国際保健協力市民の会

CRIATIVOS-HIV・STD 関連支援センター

アフリカ日本協議会

特別協賛

財団法人笹川記念保健協力財団

シンポジウム

■日時：11月30日（木） 18:00～20:00

■会場：日本教育会館（A会場）

シンポジウム7 HIV感染症「治療の手引き」第10版

司会 木村 哲（東京通信病院 病院長）
満屋裕明（熊本大学大学院医学薬学研究部血液内科・膠原病内科・感染免疫診療部 教授）

S7-1 抗HIV薬の現在と今後の臨床への展開
満屋裕明
（熊本大学大学院医学薬学研究部血液内科・膠原病内科・感染免疫診療部 教授）

S7-3 HIV感染症治療と社会保障制度
伊賀陽子
（兵庫医科大学病院 医療社会福祉部）

S7-2 長期化を考慮に入れた治療戦略
岡 慎一
（国立国際医療センターエイズ治療・研究開発センター センター長）

共催 HIV感染症治療研究会
グラクソ・スミスクライン株式会社

■日時：11月30日（木） 18:00～20:00

■会場：日本教育会館（B会場）

シンポジウム8 自ら動き出したHIV陽性者たち～“自立と社会参加”のための3つのプログラム～

司会 迫田 朋子（日本放送協会制作局第1制作センター チーフディレクター）

S8-1 セルフマネジメントの可能性、展望
大平勝美
（社会福祉法人はばたき福祉事業団 理事長）

S8-4 HIV陽性者スピーカーの育成・派遣事業
長谷川博史
（日本HIV陽性者ネットワーク・ジャンププラス 代表）

S8-2 ピア・サポートの取り組み「新陽性者PEER Group Meeting (PGM)」
矢島 嵩
（特定非営利活動法人ふれいす東京 PGMコーディネーター）

共催 社会福祉法人はばたき福祉事業団
特定非営利活動法人ふれいす東京
特定非営利活動法人日本慢性疾患セルフマネジメント協会
日本HIV陽性者ネットワーク・ジャンププラス

S8-3 慢性疾患セルフマネジメントプログラム
井手康人
（特定非営利活動法人 日本慢性疾患セルフマネジメント協会 マスタートレーナー/リーダー）

特別協賛 日本製薬工業協会

シンポジウム

■日時：11月30日（木） 18:00～20:00

■会場：日本教育会館（C会場）

シンポジウム 9 感染女性の妊娠・出産・育児支援

座長 塚原優己（国立成育医療センター周産期診療部産科）
相楽裕子（横浜市立市民病院感染症部）

S9-1 HIV 感染妊娠と母子感染予防の現状

喜多恒和

(防衛医科大学校病院産婦人科)

S9-2 スクリーニング検査偽陽性の現状と対策

嶋 貴子

(神奈川県衛生研究所微生物部)

S9-3 妊婦 HIV 検査陽性への対応の問題点

矢永由里子

(財団法人エイズ予防財団研修・研究部)

S9-4 感染妊婦から出生した児の成育に関わる問題点

外川正生

(大阪市立総合医療センター小児内科兼小児救急科)

S9-5 HIV 感染女性の妊娠・出産希望に対する支援の問題

大金美和

(国立国際医療センターエイズ治療・研究開発センター)

S9-6 わたしたちの妊娠・出産・育児

川名奈央子

(日本 HIV 陽性者ネットワーク・アジア太平洋地域 HIV 陽性者ネットワーク)

■日時：11月30日（木） 18:00～20:00

■会場：日本教育会館（E会場）

シンポジウム 10 TREAT Asia Beyond Japan: The Challenges of Dealing with HIV in the Rest of Asia

Chairmen Aikichi Iwamoto, M.D. (The University of Tokyo)
Kevin Robert Frost (TREAT Asia)

S10-1 Adeeba Kamarulzaman, M.B.B.S

(University of Malaya Medical Center)

S10-4 Shiba Phurailatpam

(Asian Pacific Network of Positive People (APN+))

S10-2 Dexi Chen, M.D.

(Beijing Youan Hospital)

S10-5 Philippe Seur, M.D.

(Pattaya)

共催 鳥居薬品株式会社

S10-3 Minoru Takebayashi

(Hearty Network)

*このセッションは同時通訳がつきます。

シンポジウム

■日時：12月1日（金） 18:00～20:00

■会場：日本教育会館（A会場）

シンポジウム 11

Improving the Management of HIV
Diseases：症例から学ぶ HIV 感染症診療のコツ

司会 青木 眞（感染症コンサルタント・サクラ精機株式会社 学術顧問）

S11-1 プライマリーケアにおける HIV 感染症診療（仮題）

Judith Aberg

(Director of HIV Services at Washington University)

共催 グラクソ・スミスクライン株式会社

企画・協力 HIV Care Management Initiative-Japan

S11-2 症例から学ぶ HIV 感染症診療のコツ＝国内症例編

山元泰之

(東京医科大学臨床検査医学講座 講師)

■日時：12月1日（金） 18:00～20:00

■会場：日本教育会館（C会場）

シンポジウム 12

PHAのメンタルサポートのセーフティーネット構築に向けて：
検査で陽性告知を受けた HIV 感染者をどう支援していくか～
保健所での検査と病院での術前ルーチン検査の事例を通して～

座長 矢永由里子（財団法人エイズ予防財団）
小島賢一（荻窪病院）

S12-1 保健所における HIV 抗体検査の対応について

狩野千草

(新宿区保健所 保健師)

S12-3 告知後まもない陽性者を地域で支えること

矢島 嵩

(特定非営利活動法人ぶれいす東京 PGM コーディネーター)

S12-2 病院における HIV 抗体検査の対応について

柳 富子

(社会保険中央総合病院 内科部長)

S12-4 メンタルヘルスのセーフティーネットの広がりに向けて：現状と課題

高田知恵子

(創造学園大学ソーシャルワーク)

シンポジウム

■日時：12月2日（土） 13:20～15:20

■会場：日本教育会館（C会場）

シンポジウム 13 HIV 診療における外来チーム医療

座長 白阪琢磨（独立行政法人国立病院機構大阪医療センター）

S13-1 HIV 診療における外来チーム医療

織田幸子

（独立行政法人国立病院機構大阪医療センター）

S13-5 HIV 診療における外来チーム医療

仲倉高広

（独立行政法人国立病院機構大阪医療センター）

S13-2 HIV 診療における外来チーム医療

池田和子

（国立国際医療センターエイズ治療・研究開発センター）

S13-6 HIV 診療における外来チーム医療

- ソーシャルワーカーの立場から

岡本 学

（独立行政法人国立病院機構大阪医療センター）

S13-3 HIV 診療における外来チーム医療

堯原 健

（独立行政法人国立病院機構大阪医療センター薬剤科）

S13-4 HIV 診療における外来チーム医療

山中京子

（大阪府立大学人間社会学部）

■日時：12月2日（土） 15:40～17:40

■会場：日本教育会館（B会場）

シンポジウム 14 看護ネットワークを活用した HIV/ AIDS ケアの可能性

司会 村上未知子（東京大学医科学研究所附属病院 コーディネーター入）
織田幸子（独立行政法人国立病院機構大阪医療センター）

S14-1 政策医療における ACC/ ブロック拠点病院
の看護ネットワーク

島田 恵

（国立国際医療センターエイズ治療・研究開発センター 看護支援調整官）

S14-3 エイズ拠点病院における HIV/AIDS 外来療
養指導の現状と課題

徐 廷美

（東京大学医学部健康科学看護学科 4年）

S14-2 HIV/AIDS 看護学会（JANAC）の活動と
課題

有馬美奈

（東京都保健医療公社荏原病院 看護主任）

S14-4 外来診療において看護師に期待する役割

加藤哲朗

（東京慈恵会医科大学附属病院感染制御部 医師）

シンポジウム

■日時：12月2日(土) 15:40～17:40

■会場：学術総合センター (G会場)

シンポジウム 15

エイズワクチン開発に向けて
“Immune Correlates” について

座長 森 一泰 (国立感染症研究所)
三浦智行 (京都大学ウイルス研究所)

S15-1 Multiple Epitope-Specific CTL Responses in Control of Immunodeficiency Virus Replication

俣野哲朗
(東京大学医科学研究所)

S15-3 Immune Correlates : Lessons from a Novel Attenuated Mutant Virus

森 一泰
(国立感染症研究所)

S15-2 New Insights into Evaluating Effective T-cell Responses to HIV

David Watkins
(Wisconsin National Primate Research Center)

S15-4 HIV Vaccine Design : Insights from Live Attenuated SIV Vaccines

R. Paul Johnson
(New England Primate Research Center)

*このセッションは英語で行います。

■日時：12月2日(土) 18:00～20:00

■会場：日本教育会館 (B会場)

シンポジウム 16

HIV感染者のセクシュアルヘルス支援のあり方
ーポジティブなSEX LIFEに向けてー

座長 井上洋士 (三重県立看護大学成人看護学)

S16-1 HIV 外来診療において扱う性の問題

下司有加
(独立行政法人国立病院機構大阪医療センター)

S16-3 がん患者のセクシュアリティをめぐる支援

高橋 都
(東京大学大学院医学系研究科健康学習・教育学分野)

S16-2 HIV 感染者のセクシュアルヘルス支援
ーその現状とプロジェクトの取り組み

井上洋士
(三重県立看護大学成人看護学)

S16-4 治療の長期化と HIV 陽性者の性行動の理解

長谷川博史
(日本 HIV 陽性者ネットワーク・ジャンププラス)

シンポジウム

■日時：12月2日（土） 18:00～20:00

■会場：日本教育会館（C会場）

シンポジウム 17 HIV 診療現場が抱える問題点

司会 今村 顕史（東京 HIV 診療ネットワーク・東京都立駒込病院感染症科）

S17-1 HIV 診療現場が抱える問題点

味澤 篤

（東京 HIV 診療ネットワーク・東京都立駒込病院感染症科）

S17-2 HIV 診療現場が抱える問題点

～千葉県と旭中央病院の場合～

神戸敏行

（東京 HIV 診療ネットワーク・旭中央病院内科）

S17-3 HIV 診療現場が抱える問題点

城所敏英

（東京 HIV 診療ネットワーク・葛飾区保健所）

S17-4 HIV 診療現場が抱える問題点

～関西（兵庫医科大学）の状況について～

日笠 聡

（東京 HIV 診療ネットワーク・兵庫医科大学血流内科）

S17-5 HIV 診療現場が抱える問題点

西田恭治

（東京 HIV 診療ネットワーク・東京医科大学臨床検査医学科）

S17-6 HIV 診療現場が抱える問題点

山元泰之

（東京 HIV 診療ネットワーク・東京医科大学臨床検査医学科）

■日時：12月2日（土） 18:00～20:00

■会場：日本教育会館（D会場）

シンポジウム 18 AIDS 新時代における歯科診療を取り巻く諸問題について

座長 高野直久（東京都歯科医師会 理事）

S18-1 歯科医師の HIV 陽性者診療に対する意識

中田たか志

（渋谷開業）

S18-4 東京都エイズ協力歯科診療所としての診療

賛川勝吉

（新宿開業）

S18-2 HIV 陽性者の歯科診療に対する意識

HIV 陽性者スピーカー（予定）

S18-5 各種取り組みについて

高野直久

（東京都歯科医師会）

S18-3 HIV 陽性者における口腔保健管理について

鈴木基之

（昭和大学歯学部）

主催 社団法人東京都歯科医師会

スキルズビルディング

■日時：12月1日（金） 18:00～20:00

■会場：学術総合センター（F会場）

スキルズビル
ディング 1

「HIV感染症における口腔症状の移り変わり」
-早期発見、早期治療へ-

座長 池田正一（神奈川歯科大学）

SB1 Changes in Oral Manifestations of HIV Disease

Joel B. Epstein

(Professor and Head, Dept. of Oral medicine and Diagnostic Sciences College of Dentistry University of Illinois at Chicago)

協賛 サンスター株式会社

*このセッションは同時通訳が付きます。

■日時：12月2日（土） 13:20～15:20

■会場：日本教育会館（B会場）

スキルズビル
ディング 2

エイズ診療の裾野を広げるために：針刺し
し予防とスタンダードプリコーション

座長 吉川 徹（財団法人労働科学研究所）

SB2 エイズ診療の裾野を広げるために：針刺し予防とスタンダードプリコーション

細見由美子

(日本ベクトン・ディッキンソン株式会社)

共催 日本ベクトン・ディッキンソン株式会社

■日時：12月2日（土） 15:40～17:40

■会場：日本教育会館（C会場）

スキルズビル
ディング 3

外来で行う HIV 迅速検査と早期診
断の工夫

座長 青木 眞（感染症コンサルタント・サクラ精機株式会社 学術顧問）

SB3 外来でできる HIV 早期診断アプローチ：鑑別診断と検査推奨のコツ

岩田健太郎

(亀田総合病院総合診療部感染症内科 部長)

共催 アボット ジャパン株式会社

ユースのためのスキルズビルディング

■日時：12月1日（金） 13:20～17:40

■会場：学術総合センター（G・H会場）

ユースのための スキルズビルディング	第1部「若者の理論強化のための講義と事例紹介」	コーディネーター	川田龍平（松本大学）
	第2部「若者の実践能力を高める参加型分科会」		沢田貴志（シェア＝国際保健協力市民の会）

Y1 生島 嗣
(特定非営利活動法人ふれいす東京)

Y4 野坂祐子
(大阪教育大学)

Y2 坂本憲治
(市民社会創造ファンド プログラムオフィサー)

Y5 東 優子
(大阪府立大学人間科学部)

Y3 高井明子
(国連人口基金ベトナム事務局)

Y6 兵藤智佳
(早稲田大学ボランティアセンター)

協力 ジョンソン・エンド・ジョンソン社会貢献委員会

*このセッションへの参加は事前の申し込みが必要です。

ランチョンセミナー

■日時：11月30日（木） 12:00～13:00

■会場：日本教育会館（A会場）

ランチョン 1

抗 HIV 療法に伴う代謝異常

座長 岩本愛吉（東京大学医科学研究所 教授）

L1-1 寺本民生
（帝京大学医学部内科学講座 主任教授）

共催 ブリストル・マイヤーズ株式会社

L1-2 味澤 篤
（東京都立駒込病院感染症科 医長）

■日時：11月30日（木） 12:00～13:00

■会場：日本教育会館（E会場）

ランチョン 2

薬剤耐性を様々な視点から捉えなおす
ー薬剤耐性が治療や生活にどのように関
連するのかを様々な立場から考えるー

座長 杉浦 互（国立感染症研究所）
コメンター 市川誠一（名古屋市立大学看護学部）
日笠 聡（兵庫医科大学血液内科）

L2-1 日本における薬剤耐性 HIV-1 の状況について
杉浦 互
（国立感染症研究所）

L2-3 相談を受けるなかで
生島 嗣
（特定非営利活動法人ぶれいす東京）

L2-2 セクシャルヘルスの観点から
村上未知子
（東京大学医科学研究所附属病院）

共催 中外製薬株式会社

■日時：12月1日（金） 12:00～13:00

■会場：日本教育会館（A会場）

ランチョン 3

NRTI の治療戦略

座長 福武勝幸（東京医科大学臨床検査医学講座 主任教授）

L3 NRTI の治療戦略
味澤 篤
（東京都立駒込病院感染症科 医長）

共催 鳥居薬品株式会社

ランチョンセミナー

■日時：12月1日（金） 12:00～13:00

■会場：日本教育会館（C会場）

ランチョン4

カレトラ錠：剤形改善をもたらすもの

座長 菊池 嘉（国立国際医療センターエイズ治療・研究開発センター 臨床研究開発部長）

L4 カレトラ錠：剤形改善をもたらすもの

共催 アボット ジャパン株式会社

Joseph C. Gathe Jr

(Clinical Instructor, Department of Internal Medicine,
Baylor College of Medicine)

*このセッションは同時通訳がつきます。

■日時：12月1日（金） 12:00～13:00

■会場：日本教育会館（G・H会場）

ランチョン5

HAARTの長期継続を可能にする
薬剤選択 – NNRTIの重要性–

座長 岡 慎一（国立国際医療センターエイズ治療・研究開発センター センター長）

L5 HAARTの長期継続を可能にする薬剤選択

共催 万有製薬株式会社

– NNRTIの重要性–

松下修三

(熊本大学エイズ学研究センター病態制御分野)

サテライトシンポジウム

■日時：11月30日（木） 18:00～20:00

■会場：日本教育会館（D会場）

サテライト シンポジウム 1

地域における長期療養患者支援の課題
～福祉現場からの提言～

座長 山本博之（東京福祉大学）
コーディネーター 小西加保留（関西学院大学）

基調講演 介護に必要な HIV 感染者を地域で支えるために
小西加保留
（関西学院大学）

SS1-1 臨床医の立場から
内海 眞
（高山厚生病院）

SS1-2 施設職員の立場から
馬淵規嘉
（サンビレッジ新生苑）

SS1-3 ケアマネージャーの立場から
梨木京子
（医療法人社団三記東鳳ハイネス）

SS1-4 医療ソーシャルワーカーの立場から
葛田衣重
（千葉大学附属病院）

主催 財団法人エイズ予防財団（厚生労働科学研究費
エイズ対策研究推進事業 研究成果発表会）
厚生労働省エイズ対策研究事業「HIV 感染症の医療体制の整備に関する研究」班

■日時：12月1日（金） 18:00～20:00

■会場：日本教育会館（B会場）

サテライト シンポジウム 2

ゲイ男性の生育歴と HIV 予防 -5,731 人のインターネット調査
結果をひもといて- 研究者・スクールカウンセラーの立場から

進行 市川誠一（名古屋市立大学看護学部）

SS2-1 日高庸晴
（慶応義塾大学看護医療学部・エイズ予防財団リサーチレジ
デント・京都大学大学院医学研究科 客員研究員）

SS2-2 向笠章子
（聖マリア病院 臨床心理士・福岡県スクールカウンセラー）

SS2-3 森田眞子
（神奈川県保健福祉部健康増進課・HIV 保健センター HIV
カウンセラー）

主催 財団法人エイズ予防財団（厚生労働科学研究費
エイズ対策研究推進事業 研究成果発表会）
厚生労働省エイズ対策研究事業「男性同性間の
HIV 感染対策とその評価に関する研究」班

市民公開講座

■日時：12月2日（土） 13:00～15:30

■会場：学術総合センター（F会場）

市民公開講座 1

あなたが、わたしが、Living Together
～つながることから始まる HIV/AIDSの予防～

コーディネーター

岩室紳也（地域医療振興協会ヘルスプロモーション研究センター）

公開1-1 HIVが教えてくれたこと

北山翔子

（「神様がくれた HIV」著者）

公開1-2 HIV陽性者の声を届けるために

矢島 嵩

（ジャンププラス・HIV陽性者スピーカー派遣事業）

公開1-3 関係性を創るために ～リーディングという手法を含めて～

生島 嗣

（特定非営利活動法人ぶれいす東京）

公開1-4 新しい教材開発に向けて ～CGを駆使したコンテンツ開発～

佐藤真康

（株式会社ケーシーズ 代表）

公開1-5 エイズと私を語る～学校でのエイズ教育の課題～

安藤晴敏

（神奈川県立津久井高等学校 副校長）

公開1-6 ピアが語る性～リアリティと当事者性～

遠見才希子

（聖マリアンナ医科大学医学部 2年生）

公開1-7 学校のニーズとダイヤモンド～多様性とセクシュアリティを踏まえて～

岩室紳也

（地域医療振興協会ヘルスプロモーション研究センター）

主催 財団法人日本性教育協会

第20回日本エイズ学会学術集会共同企画

■日時：12月2日（土） 15:40～17:40

■会場：学術総合センター（F会場）

市民公開講座 2

なぜ男性同性間でHIV感染は増えたか -その対策は何をどうしてきたか、そしてこれからどうしていくか-

座長

市川誠一（名古屋市立大学看護学部）
長谷川博史（日本HIV陽性者ネットワーク（JaNP+）代表）

公開2-1 大阪におけるエイズ対策～これまで、これから

鬼塚哲郎

（京都産業大学・MASH大阪 代表）

山田創平

（財団法人エイズ予防財団・MASH大阪）

公開2-2 東京のゲイコミュニティとエイズ

佐藤未光

（ひかりクリニック・Rainbow Ring 代表）

公開2-3 LIVING TOGETHERという戦略について

生島 嗣

（特定非営利活動法人ぶれいす東京）